

夏休み 2019 宿題・自由研究大作戦
わくわく教室【京都会場】議事録

出演者：タナからイケダ

サイエンスクリエイター&サイエンスパフォーマー 善ちゃん

生産者 加藤絵美

事務局司会 皆さん、こんにちは。本日は、夏休み 2019 宿題・自由研究大作戦にお越しいただきましてありがとうございます。このステージでは、『知ろう！考えよう！親子で学ぶ食品中の放射性物質』をテーマに、食品中の放射性物質について皆さんで学んでいきたいと思えます。進行は京都住みます芸人、タナからイケダのお2人です。それでは拍手でお迎えしましょう。

池田 こんにちは。入りました。ありがとうございます。

田邊 1番、入りました。どうもこんにちは、皆さん。吉本興業から来ました、タナからイケダと申します。

池田・田邊 よろしくお願ひします。

田邊 今日は皆さんと楽しく勉強していきたいと思っておりますので、皆さん最後まで盛り上がっていきましょう。せっかくですから、ちょっと聞かしてもらいましょうよ。

池田 われわれタナからイケダと申します。われわれタナからイケダ知ってるぞ、テレビなんかで見たことあるぞという方、拍手のほうお願ひします。

田邊 僕のほうが田邊と言いましてですね。

池田 僕が池田と申します。

田邊 田邊と池田で、タナからイケダというコンビでやっていますんでね。

池田 はい、やっています。よろしくお願ひします。

田邊 よろしくお願ひいたします。今日は夏休み 2019 宿題・自由研究大作戦ということで、

今から『知ろう！考えよう！親子で学ぶ食品中の放射性物質』と題しまして、食品と放射性物資について皆さんと一緒に勉強しながら、食べ物の安全についてもちょっとみんなと一緒に考えていきたいなと思っておりますので、よろしくお願い。放射性物質って、言われてもちょっと。

池田 なかなかちょっと難しい言葉ですからね。

田邊 難しい言葉やし。

池田 僕らもよく分からないし。

田邊 そう。なんで、今日はみんなと一緒に、僕らも放射性物質について勉強できたらなと思ってますので、よろしくお願いします。

池田 お願いします。

田邊 はい。今日は正しい情報を持って帰ってもらえるように、頑張って勉強していきたいと思います。そして最後に、お手元のアンケートがあると思うんですけども、それに答えていただくとお土産を用意しておりますので、それと引き換えとさせていただきます。聞きながらでいいんで、アンケートの準備もしておいていただきたいと思います。それでは早速、本日ご一緒する方々を。

池田 いきましょうか。

田邊 ご紹介していきたいと思います。まずは福島県の生産者、加藤絵美さんです。こちらの正面のモニターをご覧ください。

(加藤) 夏休み 2019 宿題・自由研究大作戦の会場にお越しの皆さん、こんにちは。東北の福島県で農業をやっている加藤絵美です。ここ福島県は夏を迎えて、お米もすくすく育っています。私は、福島市で一番広い田んぼでお米を作っています。食べ物を生み出す農業は、とてもやりがいがある仕事だと思います。私たちは、食べ物がなければ生きてはいけません。今日は、みんなが毎日食べるお米の作り方をご紹介します。農業は自然を相手にするので、まだまだ学ぶことが多いです。お米は1年を通して栽培をしていくものです。春先の3月の田起こしに始まり5月の田植え、9月の稲刈りを中心に1年を通じて多くの作業があります。見てください。稲もすくすく育っています。田んぼや多くの水路には、本当に多くの生き物たちがいます。ちょっと見てみましょう。

(加藤) 私の自慢のお米です。お米は気温の変化で味が悪くなるため、家では去年の秋に採れたお米を玄米のまま涼しい場所に保管してその都度精米して食べています。私たちの作っているお米は、毎年、失敗と成功を繰り返しながら、ちょっとでもおいしくできるように1年間一生懸命大切に育てています。福島盆地の特徴である寒暖差と福島市の清流で、やさしい甘みと粒揃いが良く、食べ応えがあり、しっかりとした食感が楽しめます。うん、やっぱりおいしい。会場にお返しします。

田邊 はい、ということで今日はこのVTRに登場いただいた加藤さんに、会場へ来ていただきました。福島で普段農業をされているということで、今日はよろしく願いいたします。

加藤 よろしく願いいたします。

田邊 今日は、大変なことも8年前にございましたが、その辺で苦労されたこととか、そこから工夫されていることとか、いろいろとお話を伺えればいいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

池田 お願いいたします。

加藤 よろしく願いいたします。

田邊 そしてもうひとつ、ゲストの方がおられます。もうひとつ、サイエンスパフォーマンスの善ちゃんさんです。どうぞ。

池田 どうぞ。

善ちゃん はい、どうもこんにちは。割れんばかりの拍手、どうもありがとうございます。今日は放射性物質というもので、科学実験を交えながら楽しくやっていきたいかなと思っておりますから、楽しみにしてやってください。

田邊 はい。ということで、今日はよろしく願いいたします、お二方。

善ちゃん お願いいたします。

加藤 よろしく願いいたします。

田邊 座っていただいて、いきたいと思います。早速ですけど、まずは加藤さんにお話を伺いたいと思います。先ほど VTR 見してもらいましたが、稲がのびのびと育っててね。

加藤 そうですね。

池田 おいしそうなおにぎりでしたよ、あれ。

加藤 ありがとうございます。

田邊 おいしそうなおにぎりもありましたけど。VTR では豊かな自然の福島という感じで映っていましたが、先ほども言いましたが8年前に大きな地震があつて、大変な苦勞をされたというふうに向つてます。テレビで僕たちも見範囲でしか知りませんので、その辺のことについていろいろお話を伺えればと思つてるんですけども、大変でしたか、やっぱり。

加藤 そうですね。震災の起きたときはお店も本当に閉まつていて、真っ暗で、もうなんというか映画の中にいる世界のような感じでした。

池田 なかなかみんなは、まだちっちゃかったから。もしかしたら、まだ生まれてない子もいてたかもしれんしな。覚えてないやろけどな。

田邊 福島県で、東北のほうで東日本で大震災がありまして。原発事故とか。

加藤 そうですね。

田邊 他にもいろいろとありましたけども。

加藤 はい。

田邊 でも、そういうものが、お店が閉まつてるとかいう状況で、どういう感じで皆さんは生活されてたんですか。

加藤 そうですね。例えば、私の実家だけが電気が付いているとか。停電している中でも電気が通つたり、ガスが通つたりというところが部分的にあつたんですね。そういう人たちが、例えば皆さんの、さっきのようなおにぎりを作って配つたりとか。本当に協力し合い

ながら生きている感じでした。

田邊 その震災までは、そういうことはやっぱり薄らいでたというか、そういう関係は。

加藤 そうですね。特に積極的にそんなことはしてなかったです。

田邊 なるほどね。でも、原発事故もあって不安だったんじゃないんですか、やっぱり。

加藤 いや、不安でした。もう毎日、どん底な気持ちで過ごしておりました。

田邊 それが8年前って。言って、大人の僕たちからしたら最近の出来事じゃないですか、8年という。そんな昔の話じゃないですからね。そんな大変な生活をされてたということですけど、東日本大震災の後、農業されてますけども、お米が、加藤さん、全然売れなくなっただっていうふうに。

加藤 そうなんです。それまで買ってくれていたお友達とかも、「ごめんね」と言って買ってもらえなくなってしまったり、あとはお米屋さんから、悲しいですけど買い叩かれるようなことが起こったりとか、ちょっと悲しい気持ちになりました。

田邊 なるほどね。そんなこともあったんですね。

加藤 はい。

田邊 でも、そんなに売れなかったということですけども。

加藤 そうですね。風評被害といいますか、放射線とかそういう影響なのかなとは思いますが、科学的なことと違ってというのは全く知識がなかったのも、なかなかうまく安全ということを伝えられずに悔しい思いをしたということもいっぱいありました。

池田 なるほど。

田邊 なるほどね。今はどうなんですか。

加藤 今は検査もきっちりしているというのもあって、だんだん信用が戻ってきて、応援してくれる方がすごく増えてきたという印象です。

田邊 なるほど。では、そんな状況で、今はどんな気持ちでお米を作っておられますか。

加藤 そうですね。そうやって応援してくれる方が増えたのもあり、ただおいしいと言ってもらえるように、毎日、一生懸命お米を作っているという状況です。

田邊 なるほど。そうやって加藤さんたちが、日本全国のそういう農家の方たちが頑張ってくれてるおかげで、僕たちの食卓にお米が並んでいるわけですからね。

加藤 ありがとうございます。

田邊 今後も頑張っていたきたいと思いますけども。先ほどから言いましたけど、放射線って、今日来てくれてるみんな、分かる？

池田 いや、分かれへんよな。知ってる？

田邊 放射線。

池田 分かる人？

田邊 分かるぞっていう方、子、いてる？ 僕。

池田 分かる？ すげえな。

田邊 すごいな。放射線について、ここからは善ちゃんにお話を伺っていきたいんですけども。

善ちゃん はい。

田邊 放射線っていうのは、そもそも何なんですか。

善ちゃん そもそも簡単に言うと、ここにもある、そこにもあるっていうように、もう日常茶飯事、私たちの目の見えるところで必ずあるものとして思っと思ってください。

池田 ここにもあるんですか、今。

善ちゃん あります。

田邊 身の回りにもあると？

善ちゃん はい。

池田 そうなんや。

田邊 そうなんですね。

池田 知らなかった。

田邊 昔っから、あるもんなんですか。

善ちゃん そうなんです。地球ができて、大体 45 億年ぐらい。その前から、宇宙が大体 135 億年ぐらい前。それぐらいから、必ず宇宙の誕生とともに放射線できてますから。地球の誕生ですから、多分、皆さんよりも年上の人たちも放射性受けてますし、皆さんも放射線を必ず受けてるという状況になってますね。

池田 そうなんや。

善ちゃん これは事実です。

田邊 そうなん。身の回りに放射線はあるの？ということで出てきました。それだけ、じゃあ、百三十何億年前から。

善ちゃん そうなんです。

池田 ずっとあるんや。

善ちゃん 宇宙ができてから。

池田 じゃあ、僕らも見えてないだけで、今、触れてるんすね。

善ちゃん そうなんです。今、めっちゃいいこと言ったんですけど、実は放射線あるあるといっても、皆さん、残念なことに目で見ることにはできないもんなんです。

田邊 できないですよ。

池田 見えないんですね。

善ちゃん はい。なので、そういうものを実際に測る、放射線をどれくらいあるんだろうというような計測器。こちらには環境放射線モニターというものがあるんですけど、こういうものがあって、今、実際会場に降りてきている放射線というものを測っています。ちょっとこの表示ボタンを皆さんが見えないので、音が出るようになってますから、ブザー。音がしたら、放射線きてるよっていう音です。聞こえたら、ちょっと大きな拍手で。

田邊 ピピピピ。

池田 聞こえた？

田邊 聞こえてる？ピピピピっていう音してるね。

善ちゃん 聞こえたら拍手お願いします。

池田 聞こえた？ 聞こえてる？ みんな。

田邊 みんな、聞こえてる？

善ちゃん 拍手すると聞こえなくなっちゃうんですけど、それぐらいに繊細なんですけどね。ただ、これが聞こえてる音が、今、実際にここの機械で受信した放射線が降ってきてるんだよということなんですよね。

田邊 なるほど。これ、じゃあそういうことですけど、放射線っていうのは少量なら別に大丈夫ということなんですよね、それって。

善ちゃん 実際に受けてますし。放射線、やっぱり量が大切なんですけども、受けてても今、問題は全然起きてませんよね。

池田 問題ない。

田邊 問題ないと。

善ちゃん むしろ生まれつき浴び続けている、受けてるもんなので問題ないですね。

田邊 でも、そうやって機械で測定するしか方法がない、目に見えないと言われると、やっぱりちょっと見てみたいなど。

善ちゃん 実はというと、自由研究の中でも作ること可能なんですけど、放射線を見る実験っていうのができるんです。

田邊 どういうことですか、それは。

善ちゃん こちら、直接見ることはできないんですけども、その放射線というものが通った跡、その痕跡を見ることができるといえるものが、皆さんでもできるものとして、実験としてあるんですね。それを霧箱といいます。これですね、霧箱。ちょっと専門的な格好もしてますけどもね。簡単に言うと、下にドライアイスなんかを敷いてあげて、透明な容器の上側にスポンジを隙間テープみたいなので貼ってもらって、そこに消毒用のアルコールなんかをちょこちょこかけてあげて、蓋を密閉してあげます。そうすると、中はドライアイスで冷やされて、アルコールがいわゆる気化をする。目に見えない蒸気になる。そうすると、湿度が100パーセントみたいな寒い空間ができるんです。そんなところを作ってあげると、実は放射線が通った跡、それを見ることができるといえるんです。

池田 これで？

善ちゃん はい。

田邊 アルコールの霧ということですよ。

善ちゃん 実際、これ動画ですけど。

田邊 これが、その霧箱の中。

善ちゃん もやっとしてるところに、あるところに一瞬白くなる場所見えませんか？

池田 今、下にあった。

田邊 今、線がピュッピュッて。

池田 これもや。

善ちゃん そうです。

池田 これ？

善ちゃん 見えます？ 白くなったところ。

池田 いっぱいある。

田邊 見える？みんな。見える？

池田 ちょっとシュンって、線入ったような。

善ちゃん はい。

田邊 これが放射線なんですか。

池田 めっちゃ出てる。

善ちゃん そうです。放射線の通った跡ですね。

田邊 通った跡ということは、今、現在通っているわけじゃないってことですね。

善ちゃん 通り過ぎた後に、いわゆる簡単に言うと飛行機雲みたいに放射線が入る。そうすると、塵というものがあると雲ができるのと同じように、一瞬通ってみるとその空気の、簡単に言うと電子というものが結びついて雲ができるということが、こん中で起きてるんです。

田邊 これは放射線の飛行機雲だと考えれば。

善ちゃん そうですね。

田邊 なるほど。

池田 初めて見た。

田邊 こんなふうに見ることもできるんですね。

善ちゃん そうですね。そうすると、意外とこんなに多くひこうき雲みたいに見えるんだってのも、おうちでやってみるといいのかなと思います。結構驚きますよ。

田邊 でも、加藤さん、実際、被災地で福島県で、霧箱状態にすることはできないわけじゃないですか。

池田 そうやな。

加藤 できなかったですね。

田邊 見えない不安というのは、やっぱりありますよね。

加藤 ありました。もう匂いも本当にしないし、目には見えないもので、どうやって避ければいいのか、戦えばいいのかが全く分からなかったです。

田邊 そうっすね。戦い方が分からないですもんね。

加藤 分からなかったです。

田邊 抗えないですもんね。

加藤 そうなんです。

田邊 実際に。はい。これ、じゃあ、放射線というものについて、もう少し善ちゃんにお話を伺いたいんですけども。

善ちゃん はい。

田邊 放射線というのは、何から発生しているというか。

善ちゃん 簡単に言うと光。そしてこんなふう。ちょっと難しいんで、放射性物質を右側の電球に例えてみました。

田邊 放射性物質というものがあるんですか。

善ちゃん はい、そうですね。放射性物質というものがあって、それを電球に例えてみました。例えば、電球というのは光を出す力があります。電球というのは、光を出す物質です。光が出ていますけども、実際、光って飛んでるとこ、見えませんよね。

田邊 はい。

池田 はい。

善ちゃん それと同じように、放射性物質から放射線というもの、出ているんです。それが結局、目に見えないということですね。実際に具体的に言えば、自然から出てくる放射線、いわゆる宇宙からも降り注ぐ、地面からも出てくる、そういう自然放射線というものが一番多く見られる、知られているようなものでもありますよね。

田邊 なるほど。放射線。

池田 電球や。電球と思ったらいいんや。

田邊 電球と思わんほうがええと思うけどな。

池田 そうか。

田邊 放射性物質というものはどこにあるもの？ 大気中にあるものなんですか。

善ちゃん そうなんです。実際、その放射線でちょっとここだけ押さえてきたいんですけど、さっきの電球だとワットとか、昔は明るさなんか言いましたけど。ワットというものが、いわゆる放射線でいうベクレルという放射性物質の強さで表します。

田邊 ベクレルって、保護者の皆さんは聞いたことはある方も多んじゃないですかね。ベクレルとか聞きますね。

善ちゃん それを受ける力、受けたもの、私たちに当たったもの、それをシーベルトという。これ、科学者の名前なんですけども。それを単位にしています。

池田 シーベルト聞いたことあるやない。音楽とかで習ったよな。

田邊 シューベルトや。シーベルトですよ。

善ちゃん 違う人なんですよ。

田邊 放射性物質じゃないから、シューベルトは。シーベルト、なんか単位ですよ。

善ちゃん そうです。

田邊 1シーベルトとか、0. 何シーベルトとか、よく聞きましたけどね、当時。

善ちゃん 宇宙の、例えば星ができるときに発生したりだとか、あと、滅びるときだとか。また、放射性物質なんていうと、聞いたことあるかな、ウラン鉱石だとか。また、山の高いほうに行ったりすると、結構放射線が高いなんて言われていて、例えば南米のほうのある国では、その放射線量が多いので、逆に昔はその国、長寿の国とも言われてたんですよ。長生きをするということで調べたら、まだ科学的な実証はされてませんが、放射線量が多かったなんていうところも実際に。そこが長生きすると国として知られていたということですね、昔だと。

田邊 そうなんです。でも、実際、福島で事故が起こって、放射線がすごいとか聞きますけども、食物、福島とかそういう被災地でできた食べ物についてはどうなんですか、実際。

善ちゃん これもそのままにすると、何も始まりません。加藤さんのように、やっぱり行動している人たちがいるんです。実は、放射線の中にはセシウムというものも入ってるんですけど、そのセシウムという物質を植物が取り込まないように、それと同じような特徴を持ったカリウムという。カリウムだと肥料としてよく知られている物質なんですけど、そのカリウムを置き換えることによって、カリウムとして栄養を蓄え、セシウムを排除する、取り込まないような工夫をして、8年前ぐらいからそうやって取り組んで土壌改善にも努めてきた。農作物にも工夫をして作っているということですよ。

田邊 だから福島の農家のかたがたの努力で、放射線量というのは著しく減ったということですよ。

善ちゃん そうなんです。言い方はものすごく大げさになってしまうかもしれませんが、他の国とかに比べるとそれ以上に神経を研ぎ澄まして、一生懸命おいしいもの作ろうとい

う意識はやっぱり高いと思います。

田邊 なるほど。実際、風評被害でこっちにも届いてたじゃないですか。東北の食べ物はちょっと危険だとか、心ない、無責任なうわさが回ってましたけど。もう今は、そんなことないということですよ。

善ちゃん もう土を入れ替えたり、肥料を入れ替えたりすることで、実際にちゃんとした検査をしてから、基準値を超える食品は一切出回っていないってことになっています。

田邊 なるほど。

池田 ほな、もういけんねんな。

田邊 今は大丈夫ということですよ。

善ちゃん はい。

田邊 なるほど。じゃあ、最後、みんな放射性物質について分かってもらったと思いますので、最後は、善ちゃんの総仕上げということで、空気砲クイズをお願いしたいと思います。

善ちゃん はい。こうやって段ボールに穴を開けてバンバン撃つと、これ、空気砲といいます。これもたたけば目に見えないもの、こういうもの、固まりが飛んでるんですが。

池田 空気は目に見えない。

善ちゃん 目に見えるようにしようって、煙入れてもらいました。そうすると、こんなものがいけるんですよ、こうやってね。

池田・田邊 すごい。

善ちゃん これではこの広い会場、盛り上がらないかなと思ったので、善ちゃんはこの空気砲クイズ。大きくしました。

池田・田邊 でか。

善ちゃん みんな、放射線について少しは分かっていたでしょうか。じゃあ、今日の仕上げってということで、善ちゃんからのクイズです。

池田・田邊 はい。

善ちゃん 1番、放射線は目に見えない、マルかバツか。マルだと思ったら立ってください。

田邊 じゃあ、マルだと思う人は立ってください。

池田 はい。さあ、どっちだ。半分ぐらいか。半々ぐらいかな。

田邊 でも、7割、8割ぐらいは立ったんかな。

善ちゃん 放射線は目で見えない、立ってください。それでは正解は、目に見えない。正解です。

池田 正解。立ってる人、正解。

善ちゃん 空気砲ドーン。はい、サービスです。

田邊 みんなよく聞いてくれてたね。

善ちゃん 第2問にいきましょう。放射線は自然界に普通にある、マルだと思った人は立ってください。

池田 さあ。

田邊 今回は。

池田 どっちでしょうか。

田邊 では、善ちゃん、正解のほう発表お願いします。

善ちゃん はい。正解はマルです。普通にあります。

田邊 正解です。

池田 立ってる人、正解。

善ちゃん 空気砲ドーン。はい、拍手。

池田 おっきいから、やっぱりいくね、めっちゃ。

田邊 まだまだ出てるよ。

池田 すごいきれい。

善ちゃん じゃあ、第3問。

放射性物質は普通に食べ物にも含まれている、マルだと思った人立ってください。

池田 マルやと思う人は立ってください。さあ、どっちだ。

善ちゃん 正解はマルです。当たった人たち、空気砲ドーンと。

池田 これはいく。平安神宮までいくんちゃうか、これ。

田邊 いかへんわ。壁あるからね。

池田 ほぼ正解やな、みんな。

田邊 ねえ。

善ちゃん 実際、全てのものに降り注いでますので、地面から出てますので、どうしても放射性物質は含まれている。必ずあるもんだと思ってください。

池田 なるほど。

善ちゃん はい、じゃあ続いて第4問といきましょうか。お店で売っている米や野菜などは安心して食べられる、皆さんに聞きましょう。

田邊 全員で。

善ちゃん マルだと思う人、立ってください。立ってる人は。

田邊 手を挙げてもらいましょうか。

善ちゃん 手を挙げますか。

田邊 マルだと思う人、立ってるみんなは手を挙げてもらって、後ろでね。

善ちゃん 正解は。マルです。さっきも言いましたけど、全てが、やっぱり何でもそうなんですけど、車でも服でもそうですけども、どっかからわけ分からんもの買うと危ないかもしれない。ただ、実際にお店で売られているものは、しっかりと検査をして安全に流通していますので、そこは安全だと皆さんも思ってください。

池田 もう安全ですから。たくさん食べましょう、みんなで。

田邊 みんなで食べましょう。

善ちゃん はい。

田邊 最終問題ですかね。

善ちゃん じゃあ、お二人で出してくださいよ。

田邊 じゃあ、僕たちから最終問題。最後、全員にクイズでございます。

池田 全員で。

善ちゃん 最後です。

田邊 今回はマルバツではございません。分かった方から、もう口々に言っていたきたいと思います。声に出して、大きく言ってください。問題は。福島のおいしいものは何？

池田 何でしょう。

田邊 さあ、答えてください。

池田 答えてください。

田邊 もう当たらなくても、答えて。

池田 はい、どうぞ。

会場 トマト。

田邊 トマト。

会場 米。

池田・田邊 米。

田邊 米あった。

会場 お米。

池田・田邊 米。

会場 桃。

池田・田邊 桃。

会場 桃。

会場 桃。

田邊 桃。桃。

池田・田邊 桃。

池田 桃。はい、おねえちゃん。

田邊 お米って言った。

池田 お米。

田邊 じゃあ、正解は加藤さんのほうから発表していただけますでしょうか。

池田 正解は？

加藤 正解は、お米と言いたいんですけど、全部正解です。

田邊 全員正解です。

池田 正解。桃も、トマトもそうやし。

田邊 そう。野菜も果物も。

池田 そうや。今、言ってくれたの全部です。

田邊 全部正解でございます。

加藤 全部正解です。

田邊 それでは、善ちゃんさん。

善ちゃん 正解です。おめでとう。ドーン。みんな OK です。素晴らしい。

田邊 よくちゃんと聞いてくれてましたね、話をね。今日は皆さん勉強になりましたか。

池田 どうですか。

会場 なった。

田邊 ということで、今日は加藤さんも、善ちゃんさんも、ありがとうございました。

池田 ありがとうございます。

加藤 ありがとうございます。

田邊 今日は『知ろう！考えよう！親子で学ぶ食品中の放射性物質』というテーマでございましたが、最後にじゃあ加藤さんのほうから会場の皆さんに一言お願いしてよろしいでしょうか。

加藤 はい。今日はありがとうございました。みんなに安全だということも分かってもらって、とってもうれしいです。これからも農業を一生懸命、みんなに美味しいお米を届けられるように頑張っていきます。よろしくお祈りします。

田邊 拍手。

加藤 ありがとうございます。

田邊 加藤さんありがとうございます。では、善ちゃんのほうからも。

善ちゃん はい。放射性物質というのは、電球でいえば光が放射線という目に見えないものなんです。でも、自然からくる放射線避けられない、必ず浴びてるもんだということ、皆さんに今日は分かっていただけたと思います。福島のほうでも最初は風評被害なんてありましたけども、生産者の皆さんの努力で土を変え、また肥料の与え方なんかも変えて、人一倍に気を使っておいしいものを作っています。そちらのほうも理解して、今度、食品見てはいかがでしょう。食品は安全。ただし、売られているもの。お店で売られているものが安全ということで、善ちゃんも一言、科学の立場から付けさせていただきます。

田邊 はい。ということで、ありがとうございました。池田君、勉強になりましたか。

池田 もう勉強になりました。

田邊 になりました？

池田 はい。もう帰って、家族全員に教えてあげようと思います。

田邊 いいこと。

池田 福島の野菜や米を買います。

田邊 一番ええこと。

池田 はい。いっぱい食べます。

田邊 一番ええことでございます。みんなも学校とか行って、今日来てないお友達とかにも。

池田 ほんまや、教えたって。

田邊 教えてあげたら、みんなが理解していけるようになるんで、その辺もよろしく願いいたします。

池田 お願いします。

田邊 そして、今日は来てくれてありがとうございます。参加してくれた皆さんには、今、映像にも映っておりますけども、福島からおいしい桃ジュースのお土産も届いております。

池田 ラッキー。さっき、だって桃も言ってくれた人、いっぱいおったもん。

田邊 そう。こんなにきれいに、おいしそうになってるんですね。僕らも先ほど桃ジュース、もう飲ましてもらいましたけど。

池田 めっちゃおいしいからね。

田邊 桃食べてるみたいな感じの、もう丸々桃の桃ジュースでございますので楽しみにしてください。そして届けてくれたのは、福島県復興シンボルキャラクターのキビタン。はい、キビタンが届けてくれました。アンケートと引き換えに、帰りに加藤絵美さんとキビタンから桃ジュースを皆さんもらってください。それから、消費者庁ブースでも放射性物質のことや食品のことを紹介していますので、ぜひお立ち寄りくださいということで、最後までお付き合いいただきまして、皆さんありがとうございました。加藤さん、善ちゃんもありがとうございました。ということで、皆さんどうも、タナからイケダでした。どうも。

池田・田邊 ありがとうございました。